

## 2024年12月16日 6地区支部研修を開催しました

### 来るべき 災害に備えを～わが家の災害対応～

講師 NPO 法人 福岡被災地前進支援 理事長 吉田 敦 先生

地震、豪雨と自然災害が多い昨今、病院・施設でのBCPの策定が進んでいます。患者様や利用者様を守るための災害対策が進む一方で、私達医療従事者の個人の対策が遅れる傾向があると考えました。また、どこで被災するかで個々人の対策は変わってきます。

そこで、今年度は「来るべき 災害に備えを～わが家の災害対応～」と題して、防災ワークショップの研修を開催し、医療従事者としてではなく一個人として、ワークショップで楽しみながら各家庭に必要な災害対応や備えを学びました。

15名と少ない人数ではありましたが、ワークショップには手ごろな人数で有意義な討論会ができました。

#### 【アンケート結果】

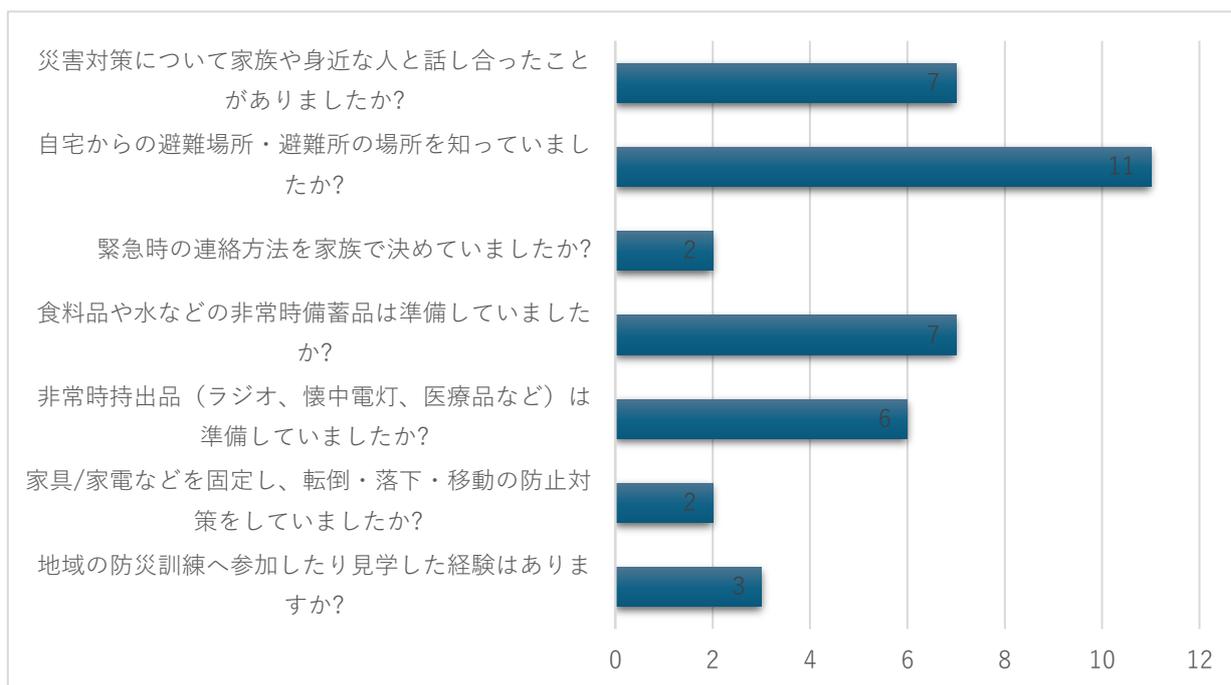
性別 女性：12名(80%) 男性：3名(20%)

年代 40代：1名(6%) 50代：7名(47%) 60代：7名(47%)

同居人数 1人：4名(27%) 2人：4名(27%) 3人：3名(20%)

4人：3名(20%) 5人：1名(6%)

## 受講前の様子



仕事の現場ではたくさん考えていても、一個人としての対策は足りないところもあるようです。

## 受講後

受講後は、ほとんどの方が前向きに検討しようと気持ちが変わっていました。

記述式では以下のような意見をいただきました。

- ・書き起こすことで、具体的なイメージがわいて震災時、自分・家族・仕事等でそれぞれどう動けばよいか深く考えることができた
- ・あまり考えたことがなかったので、一つでも実施してみたいと思います
- ・災害の研修に参加する度に、心配になることが多く出てきます。すべてに対応することは難し

い。毎年少しずつ増やして対応していきます

- ・職場で被災した際の対応は考えているのですが、自宅で被災した際の準備対応が不十分だったと感じました。これを機会に自身の対策もしていきたいと思います
- ・病院のBCPがまだ立案できていない。想像力を高め早急に整備を要すると思いました



いつ、どこで、災害に会うかわかりません。「南海トラフ」が見え隠れする昨今、いろんな場面を想定して、対策しておく必要があると感じました。

「仕事場」 「自宅」 「旅行先」 「外出中（通勤中、移動中）」 だったらどうしますか？

非難するときの持ち出し物品、非難しない（在宅）の時の非常時備蓄品、外出時のバッグに備えておくもの 準備できていますか？

携帯が使えなくなった時、家族へどう連絡を取りますか？（家族の携帯番号覚えていますか？）

などなど

この機会に、皆さんで話し合われてみませんか？